

理事会議事録 平成 19 年度第 3 回理事会 平成 20 年 2 月 22 日

1、開催日時：平成 20 年 2 月 2 日 15：00～18：00

1、開催場所：秋田県臨床検査技師会事務所

1、当技師会理事数 25 名

参加理事：菅原博之、畠山義彦、阿部 毅、宮野勇徳、三浦 徹、奈良悦子  
伊藤 功、伊藤良子、安部真理子、伊藤優子、小笠原彰、佐藤 寛  
田中喜美子、鈴木睦子、菊地孝哉、高橋和則 以上 16 名

欠席（委任状提出）理事：赤石良子、川上 登、高橋 稔、榊田由美子、中川 聡、  
遠藤正志 以上 6 名

参加理事 16 名、委任状提出理事 6 名、計 22 名で総理事数の過半数を超えており  
今回の理事会は成立した。

1、書記：安部 真理子

1、議事録署名人：宮野勇徳、佐藤 寛

1、議事内容：菅原会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けなが  
ら審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長 菅原会長

<書記の選出>

- ・ 書記は、中央 県北 県南 由利の順で行なわれており、今回は中央より  
安部 真理子が選出された。

<議事録署名人の選出>

- ・ 宮野勇徳、佐藤寛の 2 名が選出された。

<常務理事（学術担当） 会計の選任>

- ・ 常務理事（学術担当）は、三浦徹
- ・ 会計に、収入担当 菊地孝哉 支出担当 高橋和則が担当となった。

- ・ 議事は以下の内容について話し合われた

先に会長からの挨拶があり、その中で

今年 2 月 8 日に日臨技創立 55 周年法人化 45 周年記念式典がホテルオオクラ東京にて行われ  
その中で厚生労働大臣表彰 88 名が受賞となった。本県からは菊地一正氏が受賞された  
ことが紹介された。

菊地氏の祝賀会は3月14日に開催される予定。

#### 議事

- 1) 平成19年度第2回通常総会 議案書 の審議
- 2) 平成19年度収支決算中間報告
- 3) 第50回東北医学検査学会
- 4) その他

に従って会議を進めていった。概要を示す。

#### 1) 平成19年度第2回通常総会 議案書 の審議

- 数字等については全角、半角を揃えて体裁を良くする
- 点数制の表示が変わる→A-10→基礎30等・・・
- 20年度第1回通常総会の日時・会場は、平成20年5月24日「ルポールみずほ」を予定している
- 啓蒙という言葉は差別用語ととらえられているため今後は啓発という言葉を使用する
- 特定検診→特定健診とする
- カタカナ字の大きさを統一する
- 秋田県技師会会員→秋田県臨床検査技師会会員
- 参加費にそれぞれ金額を入れる
- 検査研修会事業の各部門別研修会の日程には年何回予定かを記載
- 支部研修会の中の県北支部では4/19(土)メタボ関連研修を予定
- 東北臨床検査技師会関係の期日、会場等については秋臨技ホームページ参照とする
- 所用資金欄の(2)地域保健活動事業を削除する
- 第3号議案の公益法人移行についての下欄を削除する

#### 2) 平成19年度収支決算中間報告

- 収入について年々賛助会員からの会費徴収が公正取引委員会からみで厳しい状況にあり現在54社からの賛助を頂いているが、減少することが考えられる
- 支出の部において事務費の中の備品費19年度はパソコン等を購入したため15万の支出となった。
- また19年度の印刷費は事務所の移転等があり多くの支出があった
- 検査展の予算が30万であるが試薬等の予算が全く含まれてないためこの予算では足りないのだが→会場費が5.7万と高く、これ以上の予算は持てないので何とかやりくりしてほしい
- 各学術部門に配当している配当金で残金があったものに対しては会計に返却するようお願いする。(現在6部門から8部門に変わる)
- 本年度の検査学会は盛会裡で参加者も多かったが収支はいかがであったか?→

収入147万にたいして支出145万であった。

○小笠原元会計理事から補足→学会予算収支がとんとんというイメージであるが実はここ1, 2年は抄録等の印刷物もすべてこの収入の中からやりくりしているのでかなりがんばっていると思うとの回答があった。

### 3) 第50回東北医学検査学会について

第50回東北医学検査学会は2009年に秋田市で予定されているが、同年に日本アレルギー学会(10/29, 30, 31, 11/1の4日間)も秋田市において開催される。そのため、当会顧問の茅原教授の意向も考えて当学会とアレルギー学会をドッキングさせてもいいかどうかの検討をするため理事の意見を聞いた。ドッキングしたい最大の理由は4日目の市民公開講座を含めて後半にはアレルギー学会会員が多数帰ってしまうため、是非東北医学検査学会参加者に聴講等していただきたいようだ。

- 何ともいえない
- 折角の第50回の記念すべき学会がアレルギー学会とドッキングすることで埋もれてしまうのではないか
- 明らかに策略が感じられるが・・・
- 同時開催となるとホテル等の予約で困ることはないか→それはないとの会長の言葉  
また、今後茅原教授を含めて大学の関係者との関係を希薄にしたいためにも何とか強力しないと技師会の影響も避けられない会長の気持ちがうかがわれた。

強力な反対意見がでなかったため一応議案として提出することになった

### 4) その他

- 総会は秋田市においてのみ開催されているが他の地区開催は無理なのか→旅費のからみがあるので難しいとの回答を会計の高橋氏より回答。
- メタボ健診に心電図が入っていないが、検査としては可能であるため他の事業とジョイントして行えないか検討
- 県学会、健康展においてFMラジオ椿台のご協力があった。今後も検査技師会としての名前を県民にアピールするために短いコマーシャルを継続して流したいとの事を会長から提案された。メッセージは若い技師さんをお願いして作成する予定→全員一致で了承された。
- 業務作成集のための論文等の一覧を藤田学術部長より依頼があったが、いいことだとは思いますがその前にやらなければならない事があったのでは・・・との意見があった。
- 3月29日(土)の日臨技総会に伊藤 良子理事が出席することになった。

## 事務連絡

①総会役員を3月8日まで事務局に提出とのこと。

議長2名：由利支部、県南支部

書記2名：県北支部、由利支部

議事運営委員3名：県北理事、中央支部、県南支部

議事録署名人2名：中央支部2名

資格審査委員3名：中央理事、県北支部、県南支部

②新潟中越沖地震義援金の集計

77,751円を送金した→新潟県臨床検査技師会会長の松田氏よりお礼の言葉あり  
(秋田県臨床検査技師会から) 技師会会員25名の技師、家族が被災した。  
(合計寄付総額300万)

③秋田県臨床検査技師会ホームページアドレスが変更になった。

<http://www3.ocn.ne.jp/~aamt/>

④会員が入会、異動、退会した時は速やかに届け出をお願いします。

ちなみに施設責任者が異動したために通信が滞っている施設が数カ所あるとのこと。

社団法人 秋田県臨床検査技師会

書	記	安部	真理子
議事録署名人		宮野	勇徳
議事録署名人		佐藤	寛